

# 新任医師ご紹介

以下の先生方が新しく着任いたしました。  
どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科 医師  
あきのぶ  
齋藤 彰信  
H21.4.1



消化器内科 医師  
しんすけ  
鶴田 晋佑  
H21.4.1



小児科 医師  
ひろゆき  
堀 秀之  
H21.4.1



小児科 医師  
ふみと  
山崎 文登  
H21.4.1



小児科 医師  
ひろまさ  
馬場 啓聡  
H21.4.1



循環器科 医師  
よしなり  
榎本 善成  
H21.4.1



小児外科 部長  
なつもと  
小沼 邦男  
H21.4.1



外科 医師  
あきこ  
松本 暁子  
H21.4.1



外科 医師  
みすず  
山田 美鈴  
H21.4.1



整形外科 医師  
えり  
谷村 絵里  
H21.4.1



整形外科 医師  
あつひろ  
藤江 厚廣  
H21.4.1



循環器科 医師  
ひろあき  
新倉 寛輝  
H21.4.1



泌尿器科 医師  
たけと  
柳澤 健人  
H21.4.1



眼科 医師  
もりひこ  
佐野 守彦  
H21.4.1



麻酔科 部長  
しゅうへい  
松本 晶平  
H21.4.1



総合健診部 部長  
こういち  
今 陽一  
H21.4.1



総合健診部 医師  
つかさ  
遠藤 宗臣  
H21.1.1

## 健康フェア開催のお知らせ 10月10日(土)

今回で第4回を迎える健康フェアを10月10日(土)に健診棟で開催致します。健康に関する講演会をはじめ認知症(もの忘れ)検査や血管年齢測定等皆様に関心を持っている事柄を中心に準備を進めております。詳細につきましては院内掲示板等でお知らせいたしますので皆様のお越しをお待ちしております。



医療用語辞典

### 【病診連携】

高度な専門的技術や先進の医療施設を持った病院と、患者の身近にある診療所との連携のこと。患者紹介、診療情報提供、医療機器や設備の相互利用による医療施設相互間の機能の分担および連携により、患者の治療を総合的に行うことをいいます。

医療サービスの向上へ…  
大切にします  
「みなさまの声」  
サービス委員会

**声 VOICE.2**  
清掃の方が使用している  
掃除用のモップなどは  
トイレから病室まで同じものを  
使用していませんよね？

使用していません。掃除用のモップは使用場所を明確にし使用しています。また、モップの区別はモップ上部の縫い糸の色で判断をしています。

### 平日の夜間診療はこちらへ

太田市平日夜間急病診療所  
TEL.0276-60-3099

太田市飯塚町1549-1 太田市総合健康センター2階  
診療日/月・火・水・木・金・土 ※日・祝祭日・年末年始は休診となります。  
受付時間/午後6時45分~午後9時45分



総合太田病院だより

# ほーぶ

Fuji Heavy Industries Ltd Health Insurance Society  
OTA GENERAL HOSPITAL PR BROCHURE

TEL.0276-22-6631(代) FAX.0276-25-7498

〒373-8585 群馬県太田市八幡町29-5

http://www.ota-hosp.or.jp

- 総合太田病院の移転建替えのご案内
- 看護部の院外・人材育成活動のご紹介



### 看護部長として働きはじめて



総合太田病院  
看護部長  
岩崎 かほる

4月1日付けで天竺前看護部長より引き継ぎ看護部長に就任した岩崎かほるです。早いもので看護部長に就任し、数ヶ月が経過しました。私は、東京で看護師免許を取得後、当院で看護師として働きはじめ32年を経ました。その間、家族や多くのスタッフ、そして患者様との出会いが、私を支えてくださり看護師を継続することができています。これからも感謝の気持ちを大切に努力してゆきます。

現在の社会状況においては、医療現場も厳しい状況を乗り越えてゆかなくてはなりません。いまこの変革の中、医療、看護、介護の果たす役割は、大きく変化しています。こうした中で、看護の役割はますます大きくなり、看護師には専門職としての責任感と知識を併せ持つ人材が求められています。しかし、大切なことは「患者様に寄り添う」、「看護のこころ」であると思います。病気に向き合う多くの患者様は不安と苦痛の中にいます。

患者様は、看護師の一挙手一投足に一喜一憂します。「看護のこころ」で患者様を温かく受けとめて寄り添える、看護師の育つ環境を目指してゆきます。また、専門職として自己研鑽を積み、人としての優しさと接遇を身につけ、他職種とチームで協働できる看護師の育成を支援してゆきます。

現在、大病院が先進医療を担っています。しかし、地域の病院が協力し、病院と病院間、病院と診療所間、院内の看護師間の連携を深め、住民の医療を支えてゆくことも大切だと考えています。そして、当院の新築移転計画の中、新たな出発に向けて病院経営を健全化することが、職員全体や患者様の安心を得ることになります。今後、職員とともに患者様に優しい環境と看護部の理念「思いやりのある看護実践」の提供に努め、看護の質と信頼を得られるよう取り組んでゆきますので、よろしくお願いいたします。

# 総合太田病院の移転建替えのご案内

当院では、現施設の老朽化・敷地の狭小により、平成24年度の開院を目指して、太田市大島町を候補地として、移転建替え計画を検討しております。(現病院から西へ約700mの東武桐生線の西側沿い) 新総合太田病院(仮称)の開院までのスケジュール(予定)と基本構想/基本計画について、概要をご紹介します。

## 1. スケジュール

2012年4月の移転開業を目指して、院内では、職員一丸となって活動を推進しています。現在は、基本設計の段階で、工事用の図面を描く前に、種々の詳細を決めていく段階です。患者様にわかりやすく、職員が働きやすい、そして癒される療養環境等、建物内のレイアウトを検討しているところです。大まかなレイアウトが決まった後は、それぞれの部署・場所の詳細の仕様を決めていきます。今年10月頃までには、建物内外の詳細を決めていく予定です。基本設計で詳細な仕様が決まった後が、実施設計の段階になり、工事をするための設計図を作成する段階になります。設計図が出来上がった後、いよいよ建設工事に入ります。建設工事は1年半程度かかる予定で、2012年4月頃の開業を目指しています。尚、このスケジュールと並行して、新病院での仕事の仕組みも改善していく活動を行っています。



## 2. 基本構想 / 基本計画

### 地域の中核病院として、総合的に機能充実を図り、地域医療に貢献します

当院は、昭和21年(1946年)に開設して以来、「思いやりの心で行う医療」を理念に、皆様のご支援を頂きながら成長してまいりました。今回の移転建替えを機に、今まで以上に、地域の皆様へ貢献できるような機能・体制を整えていく所存です。新病院における具体的な機能充実については、まず第1に、救急医療体制を整備します。東毛地区の中核病院として、365日24時間の救急医療の提供を行うため、地域型救命救急センターの設置を検討しております。第2に、4疾病5事業の整備・充実を行います。4疾

病である、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、並びに、5事業の中の、災害医療、周産期医療、小児医療、救急医療の整備を進めます。中でも周産期医療は、地域周産期医療施設として、ハイリスク分娩に対し、365日24時間対応していく予定です。第3には、地域災害拠点病院として、建物を免震構造とし、また、災害時の受け入れ体制等の機能充実を図る予定です。その他、臨床研修指定病院としての機能充実、情報システムの充実、健診センター機能の充実などを予定しております。



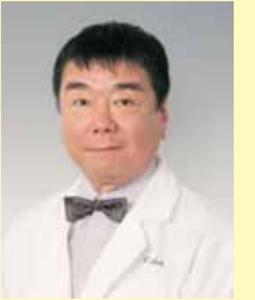
- ★救急医療体制の整備
- ★4疾病5事業の整備
- ★地域災害拠点病院としての機能整備
- ★臨床研修指定病院としての機能整備
- ★情報システムの整備
- ★健診センター機能の整備

次回は、上述のような機能を持つ新病院の運用をするための「建物・敷地内環境」等、病院施設を建設するにあたっての設計基本方針、ならびに検討進捗状況について、ご案内いたします。



診療科紹介

## 小児科外来のご紹介 特色および診療内容



副院長兼小児科部長  
佐藤吉壮

総合太田病院は、救急指定病院、新生児基幹病院であり、小児科専門医研修病院、感染症専門医研修病院の認可を受けているため救急を含めた急性期型の小児科として活動しております。

小児科外来では、年間17,000~18,000名の患者様が受診し、循環器、内分泌代謝、血液の各分野に慶應義塾大学から専門医が定期的に専門外来に来院し、その他呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患、腎疾患、感染症などあらゆる疾患に対応しています。

常勤医は現在7名で外来・小児科病棟の業務を担当しております。小児科は独立した当直体制はとっておりませんが、小児科医が当直となる日以外は24時間オンコール体制で対応しています。常勤医が複数勤務している小児科が独立していますが、小児科・小児外科の連携は密にとれており、重症小児外科疾患あるいは新生児外科疾患においては協力して診療できることも当院の特徴と言えると思います。

佐藤吉壮は細菌感染症、抗菌薬療法、感染対策を、設楽利二は小児血液腫瘍を専門にしており、アレルギー、腎臓疾患に興味を持つ小児科医もおり、慶應義塾大学、清瀬小児病院などとの連携を保ちながらハイレベルの診療を行っております。

一般外来は月曜日から金曜日の午前中に行っており、土曜日午前中は慢性疾患の予約診療となっております。月曜日から金曜日の午後は、慢性疾患の予約診療および特殊外来を行っておりますが、救急患者は24時間受け入れております。小児科外来にはスタッフ4名が常勤しており、来院いたします患児、ご心配されておられるご家族の方々への温かい対応を心がけております。

### 看護部からのお知らせ ▶ 02

## 看護部の院外・人財育成活動のご紹介



### 看護部では、 看護再就職の 支援をしています!!

副看護部長  
田中とく子

2009年度、看護部は、人材を人財と考え、院内教育に限らず、人財育成の幅広い活動を推進しています。本年度の活動は、①看護再就職支援講習会、②インターンシップがあります。

#### ①看護再就職支援講習会

子育てなどの理由で未就業の方を対象に、看護力の再開発を行い、再就職の支援をしていくものです。

第1回目の開催は、6月23、24、25日の3日間で行い、9名の希望者が受講されました。受講生から、「再就職に迷っていたけど、やっぱり私は、看護が好きなんだ!ということがわかってよかったです。」ベッドサイドで清拭や体位変換などの看護ケアのプロセスで、「もう一度、看護師をやりたいという気持ちになりました。」等の看護に対する多くの思いを聞かせていただきました。

主催者側としても、感謝の気持ちをいただき励みとなりました。第2回目は、11月を予定しております。

#### ②インターンシップ

来年度卒業の看護学生に、就業体験をしてもらい、実際の就職に役立ててもらおう活動をしています。夏休みに、第1回目7月28、29、30日、第2回目8月18、19、20日の開催で、3日間コースの予定となっております。

看護部では、このような院外の人財を育成する活動を行っていますが、いま、院内では、「時代と時間」の考え方が変化して、看護職が家庭と仕事と趣味のワークライフバランスをとれるような勤務形態が求められております。その勤務形態を、看護部では、「多様な勤務形態」と題し、看護職者が楽しく家庭と仕事のバランスがとれ、働き続けられるよう、熱く議論をしています。私たちの看護の心が患者様に届きますように、精力的に職場環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。